

必須アミノ酸

9種類

- 内容量：70g (175mg × 400粒)
- 形状：粒状
- 価格：7,800円(税込8,424円)
- お召し上がり方：1日15粒を目安に。
- 【栄養成分表示：15粒(2.625g)当たり】
(推定値)

バリン… 250mg ロイシン… 250mg
イソロイシン… 250mg ヒスチジン… 250mg
メチオニン… 250mg スレオニン… 250mg
トリプトファン… 250mg リシン塩酸塩…
250mg フェニルアラニン… 250mg

必須アミノ酸とは

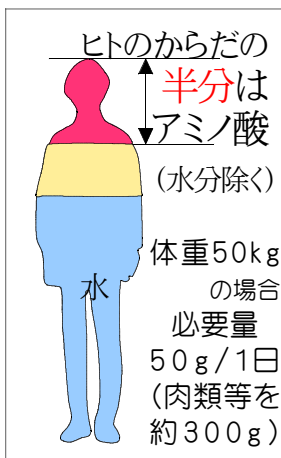
身体のタンパク質は20種類のアミノ酸からできています。この20種類のアミノ酸は、体内で作ることのできない「必須アミノ酸」と、必須アミノ酸から合成できる「非必須アミノ酸」とに大きく分ける事ができます。



そのため「必須アミノ酸」は、毎日の食事から「必ず」摂る事が必要とされるアミノ酸です。

“命の賞味期間”を決める“アミノ酸”

水分を除くヒトの身体の半分は「タンパク質」で構成されています。筋肉や内臓だけでなく、ホルモン・血液・酵素・神経伝達物質・骨なども「タンパク質」から作られています。タンパク質は“同化”と“異化”（作られ壊される事）を繰り返して、毎日、尿・便・呼吸から排泄されています。



毎日失われるタンパク質を補うために、20才も80才も年齢に関係なく体重1kgにつき約1g必要とします。従って、食事が減る高齢者は、必然的に“タンパク不足”になります。

つまり、長寿社会＝タンパク不足なのです。

一人暮らしの高齢者に限らず、“消化吸収力”が低下する年齢では、誰でも簡単に「タンパク質」不足に陥ります。

“ろう”が燃え尽きると、“ろうそく”が消えるように、ヒトはタンパク質の不足分を補わないと、命の“ろうそく”が燃え尽きてしまいます。



“命の賞味期間”は、タンパク質の材料である“アミノ酸の摂取量”によって決まるのです。

健康長寿と、“アミノ酸”

全ての生命は、命に限りがあります。現代人が昔と大きく違っている点は、ヒトは人類史上かつてない長寿命を生きているということです。

その必然として、寿命が尽きる前には、さまざまな不具合が生じます。

後期高齢者(75～85歳)の要介護の原因

- ① 脳血管疾患… 21.1 %
- ② 高齢で衰弱… 20.5 %
- ③ 転倒・骨折… 13.6 %
- ④ 認知症… 12.9 %
- ⑤ 関節疾患… 10.6 %
- ⑥ パーキンソン… 5.3 %
- ⑦ その他… 16.0 %



①～⑥は全て、自力での歩行が困難であり、“筋肉の喪失”が要介護の原因となります。

自力で歩くには、筋肉の材料である「タンパク質」が必要です。では、何故「アミノ酸」を摂るのでしょうか…？

アミノ酸が、何故良いのでしょうか…？

タンパク質は「アミノ酸」が数百個繋がったものです。食事のタンパク質は胃に入り、「胃酸」で分解され「ペプチド」になります。「ペプチド」はさらに、「アミノ酸」に分解され小腸から吸収されます。従って、タンパク質を補うために「アミノ酸」を摂る事は、“消化吸収力”が衰えてくる年代の方のタンパク不足を補う最善な方法です。



こんな方に、お勧めします

- ・タンパク質の摂取が不足している方
- ・高齢者や病気の治療でタンパク質不足の方